

群馬県立伊勢崎興陽高等学校 学校評価一覧表 (令和7年度版)

(別紙様式)

評価対象	羅針盤		方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等			
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。 ※上記の項目に替えて又は加えて、評価対象Ⅱ～Ⅵにおける評価項目や学校独自の項目を設定する。評価項目の設定に当たっては、学校運営や教育活動全般等から、学校の特色や文化・風土を吟味し、特色ある学校づくりの状況が明確になるように工夫する。 ※各学校に応じた評価項目を加える。	①自分が所属する系列の学習活動に満足している生徒が90%以上である。	①系列学習が自らの進路に直結することから、学びが社会貢献に繋がることを意識付ける。	A	A	A	○自分が所属する系列の学習活動に満足している生徒が93%であった。今後もミスマッチの少ない系列選択の指導を行ってきたい。 ○地域との交流活動やボランティア活動に参加した生徒が36%であった。機会があれば実施したいと感じている生徒が一定数いるので、機会提供の場をいかに設けるかが課題である。	○地域貢献、社会貢献につながる素晴らしい教育活動であると思います。 ○地域とのコラボにより、魅力的な商品を生み出し販売していることは、地域住民の楽しみにもなり、地域からも期待されていると思います。 ○生徒が所属する系列の学習活動に満足している割合も93%と高いことから、特色ある学校づくりに努めていると思います。 ○地域との交流活動やボランティア活動に参加した生徒が36%とのことですが、主体的に参加されたのだと思います。引き続き参加を促す機会を設定されると良いと思います。 ○1年次に全ての系列を体験することができるので、自分の学びたい事を考えられるのが良いと思う。 ○地域交流やボランティア活動があると、学びに対しての自信やさらなる勉強の力になるのでこれからも機会をたくさん作ってほしい。 ○各自の所属する系列の学習活動に満足している生徒がほとんどの結果は素晴らしいこと。 ○地域との交流活動やボランティア活動に参加した生徒が少数との結果は残念ですが地域の課題もあり検討したい。
		②地域との交流活動やボランティア活動に参加した生徒が70%以上である。	②系列学習の実践の場であることを理解させ、これらの経験から自己有用感を高める。	C	C	C		
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。 3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	①「授業は分かりやすい」と感じる生徒が90%以上である。	①授業評価等で教員が振り返りを行い、適切な指導を行う。	A	A	A	○授業がわかりやすいと感じている生徒が89%であった。今後も生徒実態に合わせた指導を行ってほしい。 ○生徒が授業が分かりやすいと感じているのは先生方の工夫や努力のおかげでたとえたいです。 ○生徒の実態に合った「わかる授業」が何より大切。生徒から90%の評価を得ている実践に敬意を表したい。 ○自ら課題意識を持ち、高い志をもって取り組む学びの過程から着実に確かな学力を身に付けていると思います。社会に通用する力だと思います。 ○学力を身に付けるため家庭学習は大切です。引き続き2時間以上の家庭学習に取り組めるよう言葉かけ等をしていただければ良いと思います。 ○進学者も増え、基礎力診断テストがあると自分に必要な事が分かってくるところ。学校で勉強会があると良い。 ○基礎学力の向上は、「生活習慣の改善」と「やさしい基礎のくりかえり」しかないので手間がかかるが、やれば必ずできると教えてほしい。	
		①基礎力診断テストにおいてG T Zが上昇している生徒が60%以上である。	①進学希望者が増加していることから、基礎力テストが進路に資することを理解させる。	C	B	B		
		②定期試験前や試験期間中に家庭学習を2時間以上行っている生徒が75%以上である。	②平常時より課題等による授業以外での学習習慣の確立を図る。	A	A	A		
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	①誰にでもしっかりと挨拶ができる生徒が75%以上である。	①挨拶の意義を指導し、教職員からも積極的に挨拶する。また、始業、終業時の分離礼を徹底する	A	A	A	○挨拶ができる生徒が多いということは、良いことだと思います。継続的に指導された結果だと思います。 ○該当指導では役員の先生が大きな声で挨拶する姿を見てきたる生徒もきちんとあいさつできていて良いと思う。行事で学校へいった際にもすれ違う生徒からあいさつを受け気持ちが良い。 ○いじめに関して、組織的に取り組み、早期発見・早期対応により早期に解決されたことですので、この体制を継続されると良いと思います。 ○早期発見・早期対応をしてくれているからこそ発生時の解消率が100%であると思う。これらも子供たちの真実を見逃さないようにお願いします。 ○幼稚園に来て下さる生徒さんは、礼儀正しく、主体的に優しく園児に関わってくれます。 ○生徒の様子から健康で規則正しい学校生活を送れていると思います。 ○生徒の欠席率が低いということは、生徒が学校生活に満足しているからだと思う。 ○清掃への意欲付けは、校舎内のみならず、校庭フェンスの内外のゴミ拾い、地域のゴミステーションの実情見学など月一度でも体験させるといいですね。	
		②生徒に関する情報交換を学期に3回以上実施する。	②職員会議、朝会等で、全職員の情報共有を図る。	A	A	A		
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的にを行っていますか。	①全教職員が、いじめの未然防止に努めるとともに、発生時の解消率が100%である。	①全教職員が、いじめの未然防止に努めるとともに、発生時の解消率が100%である。	B	B	B		
		②中途退学者及び転学生徒が9名以下である。	②生徒の動向を正確に把握し、各分掌と連携して組織的な対応を行う。	A	A	A		
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	①生徒の欠席率が2.0%以下である。 ②中途退学者及び転学生徒が9名以下である。 ③部編成時の部活動や研究部の加入率が70%以上であり年間を通じて活動している生徒の割合が60%以上である。 ④「清掃が行き届いている」と感じている生徒が80%以上である。	①不適応傾向の生徒に対する早期対応及び長期欠席者(不登校生徒)への対応(家庭連絡等)を的確に行う。	A	A	A		
			②部活動や研究部活動の充実を努めるとともに困難に負けない強い気持ちで育つよう生徒に寄り添う。	A	A	A		
③部活動や研究部への参加率が7月時点で68%、12月時点で63%であった。3年間継続した活動を今後も指導していきたい。			A	A	A			
④「清掃が行き届いている」と感じている生徒が第1回目は73%、第2回目が66%と年度後半につれて少なくなっているのは問題である。指導を徹底していきたい。			C	C	C			
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	①インターンシップに参加した生徒が100%である。	①インターンシップへの参加を組織的に指導する。	A	A	A	○3年間で全生徒1度は、インターンシップを経験している。(1年生 12月-系列別インターンシップ実施)2・3年生では希望者インターンシップを夏休みに実施している。今年度の参加者は2年生30名、3年生20名(「ようこそ先輩」含む)であった。2・3年生の希望者インターンシップ参加者数が増えるよう取り組みたい。 ○今年度の資格取得数は、のべ760資格である(1月27日現在)。一人当たり1.3であった。資格取得に向け、指導の充実をさらに考えたい。	
		②生徒が取得した資格数が、一人あたり1.5以上である。	②取得可能な各種資格を紹介し、組織的に指導・支援する。	B	B	B		
8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	①将来の職業について考え、進路実現に主体的に取り組んでいる生徒が85%以上である。 ②自標としていた進路を実現できた生徒が95%以上である。	①系列の専門性を生かしたインターンシップの充実と参加率の向上を図る。	A	A	A			
		②進路指導の充実を図るとともに、大学・短大入試担当者や企業採用担当者との連絡を積極的に行う。	A	A	A			
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	①Webページの運用体制を改善し、定期的な更新に努める。	①Webページの運用体制を改善し、定期的な更新に努める。	B	A	A	○個性きらめく夢の実現やインスタ等から、年間を通じて多数発信しており、学校の取組について理解が得られると感じました。 ○学校WEBページやインスタグラムの活用により、学校の様子を家庭や地域社会に積極的に情報発信している。 ○Instagramではイベントだけではなく外部講師などが来た時も配信されれば学校生活が見られ良いと思う。スマート連絡帳は大切なお知らせや欠席が入れられるもの良い。健康診断結果が配られる時一報あれば受診率が向上するのではないかな。 ○学校の教育活動を理解し、学校からの通知やホームページ等により学校の様子が分かり満足していると回答した保護者が87%であった。スマート連絡帳の活用により、必要連絡を行い保護者との連携を図るよう努めている。 ○地域開放行事の一層の充実及び上京町、伊勢崎市等のイベント、保育園・幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校との連携授業へ積極的に参加、協力する。	
		②三者面談の実施や学年通信の発行、メール配信等を行うことにより保護者との連携を向上させる。	B	B	B			
		③地域開放行事への参加や地域と連携した取組が10件以上である。	A	A	A			
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。 11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	①生徒がコンピュータやインターネットを利用して調べたことや考えを整理したりまとめたりするのにBYODを活用している。	①生徒がコンピュータやインターネットを利用して調べたことや考えを整理したりまとめたりするのにBYODを活用している。	A	A	A	○個別最適化した授業を行うために、BYODを活用している教員が100%であった。資格取得や検定対策でも活用されており、生徒の実態に即した活用方法を今後も模索して行きたい。 ○ICTを効果的に活用し、個別最適化した授業を行う様子が伺える。 ○一人ひとりが、クロームブックを持つことで調べたり、まとめたりとスムーズに行われると思う。クロームブックが重たいと感じる。 ○現在でも90%以上の教職員がICTを活用して業務改善しようとしているとのこととさらにスキルアップを図るための研修会を計画しているとのことですので良いと思います。 ○ICTの活用で時短につながることは多いと思う。スキルアップの為に研修会も開くべきだ。	
		①ICTを活用して業務を改善しようとして努力している職員が85%以上である。	①業務を処理する際にICTを活用し、時間短縮に努める。	A	A	A		